

# スピリチュアル物語

## 214話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

### 魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

- Skypeセッション 1時間\$80 / 90分\$115
- メール相談 簡易コース\$15 / 通常コース\$40



「人間は自然の一部なので：定期的に自然の中に身を置くことでソムが光と繋がりが易くなるんですね」マジョリアルという言葉に「確かにそうだよなあ：森を散策するととても気持ちがいいよねえ：だから僕は定期的に馬で森を抜け出して森へ行くのさ」ウイザットがそう言った。「そう言えばあなたは<sup>アガヴェ</sup>王国の王子様だったわよね：。私は何処の誰なのか：」マジョリアルは遠い目をしながらそう言って、静かに目を閉じた。そんな様子を見てマグワートが口を開く。「森を散策すると気

持ちがいいのは、森にはフィトンチッドという成分が溢れているからじゃ」「フィトンチッド？」「元々の語源としてのロシア語では、フィトン（植物）がチッド（殺す）という少し物騒なイメージがあるが、木や植物が自己防衛の為に発している殺菌・防腐・防カビ・防虫・消臭の効果がある揮発性有機化合物のことじゃ」「それがあの森の香りなんですわ」「そうじゃな。森の香りの構成要素の一つじゃ。そして木は切られた後もフィトンチッドを放出し続けていて、元々それは植物自身の為のも

のじゃが、人間にもいい影響を及ぼす一方で、脳内のα波の発生が促進されることでの精神安定、自律神経が整う、交感神経が抑えられることでの安眠・快眠効果、怒りや緊張が和らぐ、免疫力UP、癌抑制効果、肝機能の改善等が期待出来るぞうじゃ」「そうか：僕は森には森の精が居るかと思っていたけど、科学的に解明されているんだね」「そうじゃが：ワシは森には森の精が居ると信じておるぞ」



★これまでのお話(1~213話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

[www.majotomoe.com](http://www.majotomoe.com) 6月14日号につづく